

「すべてはこの大倉小学校の子供たちのために」

「平成31年度『杜の都の学校教育』が目指すもの」に則り、「心豊かでたくましい子どもを育てる【社会的自立】」ことを目標に掲げ、「地域とともに歩む学校（学びの連携の充実）（協働型学校評価の充実）」を推進の基盤に、1【豊かな心の育成～命と心を守り育む教育～】2【確かな学力の育成】3【健やかな体の育成】4【防災対応力の育成～安心を創る「仙台版防災教育」】5【自分づくり教育の推進】6【多様なニーズに対応した教育の充実】等を重点事項として、子供が主役の教育活動を推進する。

大倉小学校の教育目標

「豊かな心を持ち、心身ともに健康で、自ら学ぶ児童を育成する」

— 心豊かで

◎明るく思いやり
のある子供

たくましく

◎健康でたくましい
子供

自ら学ぶ子供 —

◎進んで学び考える
子供

「挑戦する心を持ち、
互いに高め合おうとする子供」

- 自主的なめあての設定
- 自力解決 ○他者との協働

協働型学校評価
重点事項

「健康的な体づくりに励む子供」

- 自主的な運動への取組
- 体力向上と健康の保持増進
- 食習慣と生活習慣の改善

学校

問題解決的な学習の充実 学年部合同学習
朝の倉っ子マラソン 生き生きタイム
縦割り活動 縄跳びタイム 3校交流
朝のスキルタイム 大倉スタンダード
校内研究（教職員のスキルアップ）
研修会の充実（OJT） たく生きプロ



家庭

家庭学習カードの活用
家庭学習習慣の取組
早寝早起き朝ごはんの習慣化



地域

田植え・稲刈り体験
定義太鼓伝承活動
スキー教室
学区民運動会

◆ 大倉小の子供たちのよさ ◆

- ◎ふるさと大倉の自然や文化に対する誇り
- ◎年下の子に対する優しさ・穏やかさ
- ◎何事にも一生懸命取り組む根気強さ

課題

- ① 自力で解決できることでも教職員や友達に頼ってしまう。
- ② この程度でいいかと低めのレベルで妥協してしまう。
- ③ 向上心や競争心が育ちにくく、互いに刺激し合い、向上しようという意識が希薄になってしまう。

- ① 運動量と運動経験が不足している。
 - ・全校児童がスクールバス通学である。
 - ・放課後、学校で遊ぶ時間を取ることができない。（下校時刻が決められている）
 - ・テレビ視聴やコンピュータ等のゲームに時間を費やす子供が多い。
 - ・体力・運動能力調査の結果も、仙台市や全国平均よりも低い実態である。